

第8回科学委員会会合
ニュージーランド、クライストチャーチ
2003年9月1 - 4日
議題草案

1. 開会
2. 拡大科学委員会で決まった決定事項の承認
3. その他の事項
4. 会合報告書の採択
5. 閉会

第 8 回科学委員会会合に付属する拡大科学委員会
ニュージーランド、クライストチャーチ
2003 年 9 月 1 - 4 日
議題草案

1. 開会
 - 1.1 参加者の紹介
 - 1.2 会議運営上の事項
2. ラポルツアーの任命
3. 議題及び文書リストの採択
4. ミナミマグロ漁業のレビュー
 - 4.1 国別報告書の発表
 - 4.2 事務局による漁獲量のレビュー
5. 第 4 回資源評価グループ会合報告書から提起された事項
 - 5.1 漁業指標分析及びミナミマグロ資源状況のレビュー
 - 5.2 ミナミマグロ管理に関連する勧告
 - 5.3 ミナミマグロ管理手続の作成
 - 5.4 ミナミマグロの管理目的
 - 5.5 2004 年における資源評価プロセス
6. 科学調査計画のレビュー
 - 6.1 ミナミマグロ漁獲量の評価
 - 6.2 CPUE モデル作成
 - 6.3 科学オブザーバー計画
 - 6.3.1 科学オブザーバー計画規範
 - 6.3.2 2002 - 2003 年の科学オブザーバー計画に関する報告
 - 6.3.3 2003 - 2004 年の科学オブザーバー計画の予定
 - 6.4 CCSBT 標識放流計画
 - 6.5 直接年齢査定
 - 6.6 その他の科学調査計画
 - 6.7 インドネシア漁獲モニタリングワークショップの報告
 - 6.8 RMA を実用している科学活動における報告
 - 6.9 耳石サンプリング
 - 6.9.1 各加盟国漁業における耳石収集の現状
 - 6.9.2 各漁業に対する耳石サンプリングの開発
7. CCSBT データベースの開発
 - 7.1 CCSBT データベース開発のレビュー
 - 7.2 FAO FIRMS/FIGIS システムへの参加
8. その他の CCSBT 機関に関する事項
 - 8.1 生態学的関連種作業部会への提案
9. 2004 年のデータ交換の条件

10. 提案された 2004 年調査活動の概要、予定スケジュール及び予算的措置
11. その他の事項
12. 会合報告書の採択
13. 閉会

第 8 回科学委員会会合に付随する拡大科学委員会
ニュージーランド、クライストチャーチ
2003 年 9 月 1 - 4 日
議題草案

1. 開会
 - 1.1 参加者の紹介
 - 1.2 会議運営上の事項
2. ラポルツアーの任命
3. 議題及び文書リストの採択
4. ミナミマグロ漁業のレビュー
 - 4.1 国別報告書の発表
(加盟国が提出した報告書を発表する。)
 - 4.2 事務局による漁獲量のレビュー
(事務局が加盟国によって報告された漁獲量の表を発表する。)
5. 第 4 回資源評価グループ会合報告書から提起された事項
 - 5.1 漁業指標分析及びミナミマグロ資源状況のレビュー
 - 5.2 ミナミマグロ管理に関連する勧告
 - 5.3 ミナミマグロ管理手続の作成
 - 5.4 ミナミマグロの管理目的
(管理手続に関する資源評価グループの討議中に、おそらくミナミマグロ管理目的に関する協議が行われる。管理手続で使用するための管理目的に関し、拡大委員会への特定の質問及びあるいは特定の勧告を準備するために、さらなる協議が科学委員会において行われるかもしれない。)
 - 5.5 2004 年における資源評価プロセス
(資源評価グループの会合では、2004 年に完全な資源評価が行われるべきかどうか、あるいは、管理手続の開発に関連する最終的な問題解決に集中すべきかどうか協議する。資源評価が行われない場合、2003 年に関する漁業指標の最新化されたレビューも必要になる。これらの事項に関する勧告を拡大委員会へ提出するために科学委員会においてさらなる協議が行われるであろう。)
6. 科学調査計画のレビュー
 - 6.1 ミナミマグロ漁獲量の評価
(事務局が、CCSBT 漁獲報告スタンダードの進展、及び加盟国による漁獲報告に関する簡単な報告を行う。)
 - 6.2 CPUE モデル作成
(CPUE モデリング運営委員会により報告書が提出される。)
 - 6.3 科学オブザーバー計画
 - 6.3.1 科学オブザーバー計画規範

(拡大科学委員会は、第7規範草案を検討する。)

6.3.2 2002 - 2003 年の科学オブザーバー計画に関する報告
(加盟国により簡潔な概要が発表されるべきである。)

6.3.3 2003 - 2004 年の科学オブザーバー計画の予定
(加盟国により簡潔な概要が発表されるべきである。)

6.4 CCSBT 標識放流計画

(今までの標識放流計画における進展、特に標識放流、標識回収及び報告率の評価について協議する。事務局は、表層漁業における標識放流及び2004年の予算案について報告する。加盟国は、自国のはえ縄漁業における標識放流について報告する。)

6.5 直接年齢査定

(耳石解読の結果についての協議)

6.6 その他の科学調査計画

(加盟国は、CCSBT 科学調査計画の重要な要素として委員会によって認められた4つの研究問題におけるそれぞれの活動を報告する。)

6.7 インドネシア漁獲モニタリングワークショップの報告

(インドネシア漁獲モニタリングワークショップの結論及びその後行われた分析の影響についていくつかの協議が行われるであろう。そのような分析を行った加盟国は、その結果を要約した文書を提出する。)

6.8 RMA を実用している科学活動における報告

(RMA を利用した加盟国は、その活動に関する簡潔な要約文書を用意する。)

6.9 耳石サンプリング

6.9.1 各加盟国漁業における耳石収集の現状

6.9.2 各漁業に対する耳石サンプリングの開発

(加盟国が、各付属項目に関するそれぞれの最近の活動を要約する簡潔な報告書を提出。)

7. CCSBT データベースの開発

7.1 CCSBT データベース開発のレビュー

(事務局からの報告)

7.2 FAO FIRMS/FIGIS システムへの参加

(CCSBT10 は、10月にこのシステムに参加するべきかどうか協議する。システムへの参加は、拡大科学委員会の責務のもとミナミマグロ漁業の状況に関する正式な報告をすることとなる。)

8. その他の CCSBT 機関に関する事項

8.1 生態学的関連種作業部会への提案

(CCSBT10 は、生態学的関連種作業部会へ2004年2月の会合に対する作業計画についてガイダンスを提示する。この議題は、科学委員会が、

委員会に対し作業部会の活動に関し科学的側面よりガイダンスを提示する機会を与える。)

9. 2004年のデータ交換の条件
(事務局が、合意された委員会の任務に必要なデータ交換の概要を提示する。)
10. 提案された2004年調査活動の概要、予定スケジュール及び予算的措置
11. その他の事項
12. 会合報告書の採択
13. 閉会